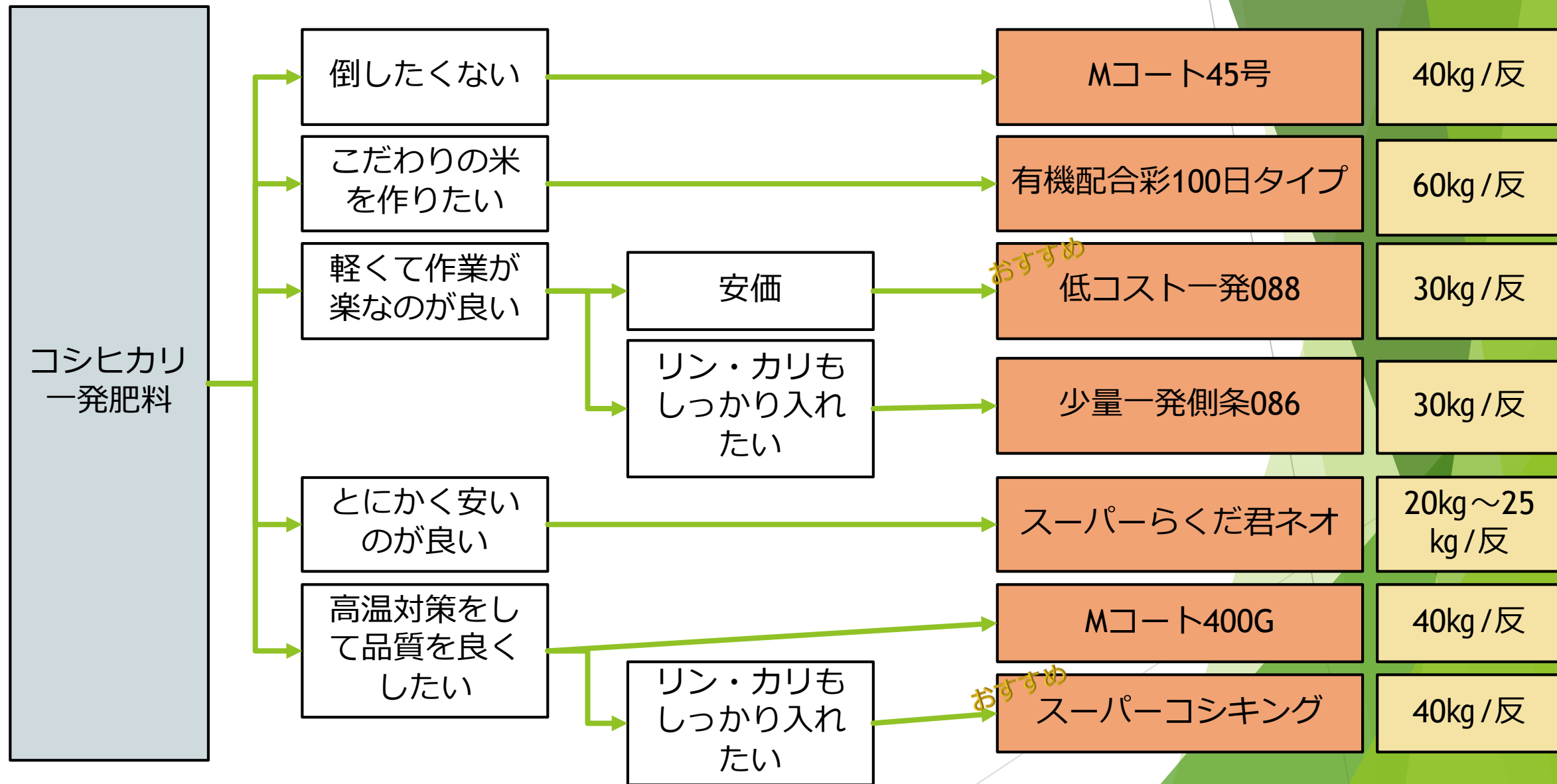


一発肥料の選び方について

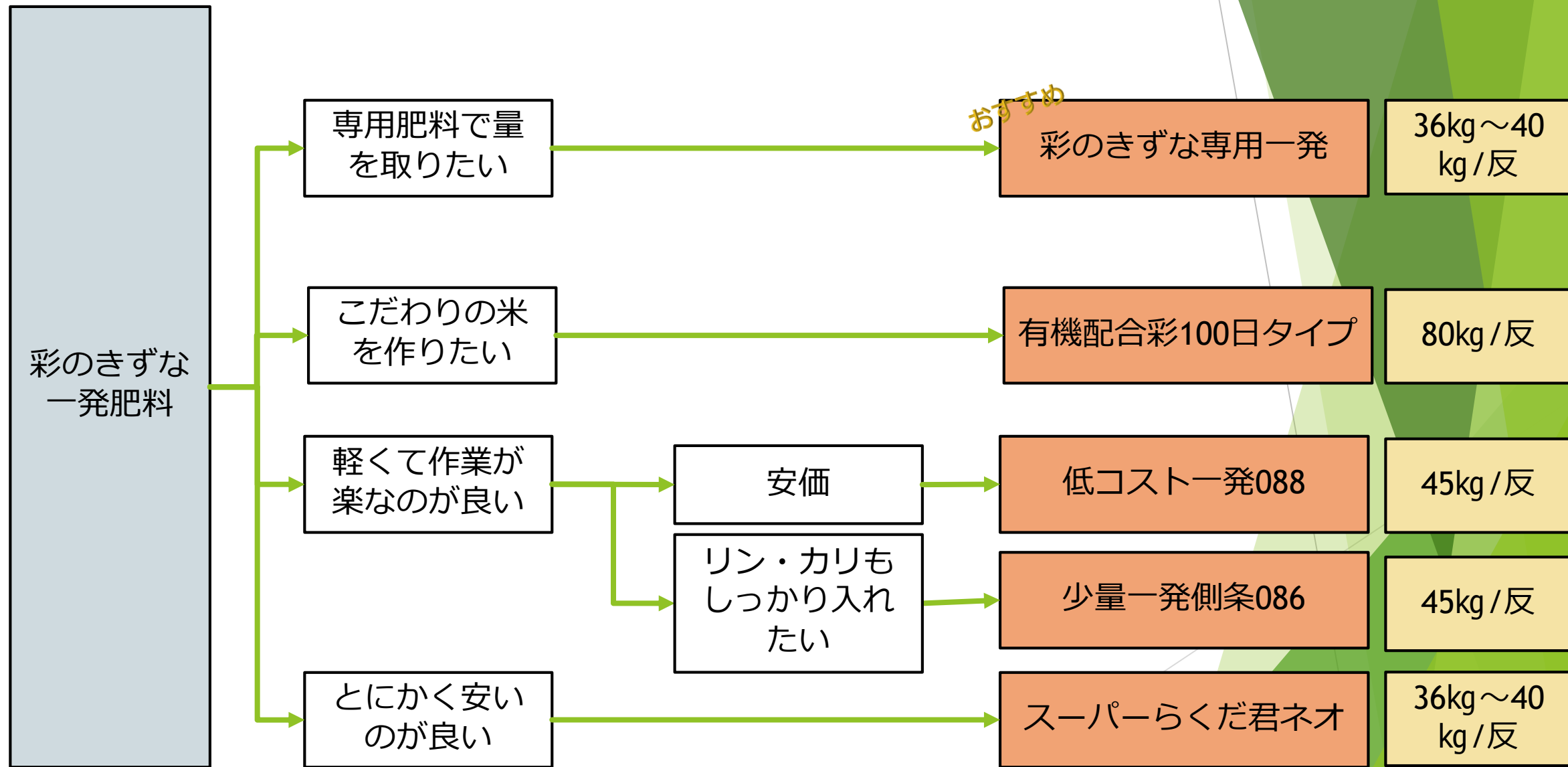
水稻の一発肥料を使いたいけれど、注文書に載っている一発肥料が多すぎて、どれを使ったらいいかわからない！という方向けに肥料選びの参考になるような表を作成しましたのでご活用ください。

散布量は目安となりますので、圃場に合わせて加減してください。

コシヒカリ一発肥料選び方目安表



彩のきずな一発肥料選び方目安表



おすすめ除草剤について

- ▶ 水稲用除草剤で悩んでいる方向けに、おすすめの除草剤と、最近注文書に採用された商品を紹介します。

水稲用除草剤を散布する前に！

①代掻きは丁寧に！田面を均一にして水持ちをよくする。

初期剤、初中期一発剤は通常、散布された後田面に処理層と呼ばれる薬の吸着した層を作り、その処理層が雑草に対して効果を発揮します。この処理層ができる前に水が抜けてしまうと十分に処理層を作れないため、除草剤の効果が落ちます。

②散布時の水深は3～5 cmを保つ！

十分に水が溜まっていることで有効成分が均一に拡散して除草剤の効果が高まります。

③除草剤散布後は、7日程度入水、落水を控える。

水田の中に除草剤の成分をとどめておくことで、より、除草剤が効果を発揮できます。水がなくなった場合は、オーバーフローしないように給水してください。

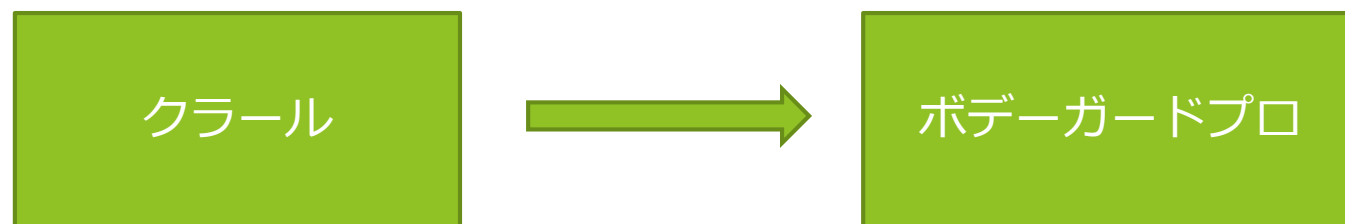
④雑草の葉齢に気をつけて、散布適期を逃さない！

適期を逃すと、除草剤の効果は低下します。雑草が大きくなる前の散布をしましょう。

クラール粒剤（初期剤）

- ▶ **藻類に対して効果のある初期剤**。ノビエ、ホタルイコナギなど幅広い雑草に効果があります。初期剤ですので、ほかの初中期一発剤や中期剤と組み合わせてご使用ください。
- ▶ 藻類の発生・表層剥離を抑えることが出来るので2回目の除草剤を散布する際に、**藻に薬が広がるのを邪魔されることが少なくなる**のでジャンボ剤やフロアブル剤での散布がより効果を発揮できます。

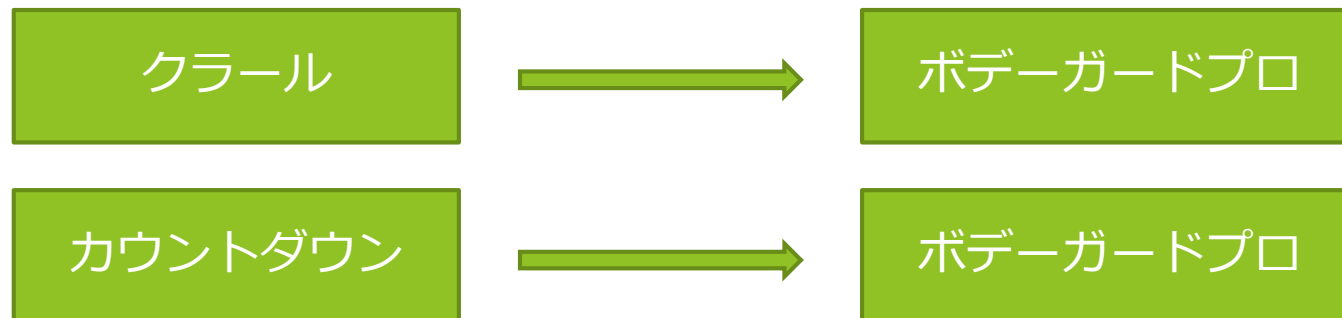
おすすめ体系処理



ボデーガードプロ（初中期一発） 粒剤 フロアブル ジャンボ

- ▶ 特にヒエに強く、他の初中期一発剤に比べて大きくなったヒエも枯らすことが出来る為、早めの中期剤のような使い方もできる。
- ▶ 近年目立ってきている「イボクサ」や「クサネム」畦から這ってくる「キシユウスズメノヒエ」も有効で抑制することが出来ます。
- ▶ 単剤での使用もよいですが、代掻きから除草剤散布までの間が空いてしまうと「ミソハギ」が発生することがありますので、田植え後、なるべく早い散布、もしくは、他の剤との体系処理がおすすめです。

おすすめ体系処理



イボクサ対策に
おすすめ！

シグナス (初中期一発剤) 粒剤 フロアブル ジャンボ

- ▶ クログワイ、ホタルイに高い効果があり、クログワイの塊茎も減らすので次年度の発生も減らすことができます。
- ▶ ヒエに対しても残効性の長いものを配合しており、後発のノビエにも有効です。

おすすめ体系処理

